

## 北の大地で躍動！

### 〔第44回九州中学校バドミントン競技大会〕

8月5日から7日まで佐賀市で開催された第44回九州中学校バドミントン競技大会の女子個人ダブルスの部で優勝した江里口梨奈さん（東部校9年）、玲奈さん（東部校8年）姉妹が8月17日、横尾市長を表敬訪問しました。

YBSバドミントンクラブに所属し、毎日2時間半の練習を行っている姉妹。姉の梨奈さんはスマッシュを積極的に打つ攻撃型、妹の玲奈さんは技巧派のオールラウンダーで姉妹ということで息もぴったり。九州大会決勝では熊本県坂本中のペアにスコア2対1と競り勝ち見事に優勝しました。

ダブルスの特徴を「ペアを組む相手がどこに打つか予測し対応すること」と語る江里口さん

姉妹は、8月20日から北海道釧路市で開催された全国大会に出場しました。結果は、健闘およばず初戦敗退でした。



▲横尾市長の激励を受ける江里口梨奈さん（左）と玲奈さん（右）

## 無病息災祈願と先祖の霊を迎える伝統行事

### 〔岸川区「盆綱引き」〕

8月15日、岸川区「盆綱引き」が行われ、帰省した家族など多くの人で賑わいました。

「盆綱引き」は、無病息災祈願と先祖の霊を迎える行事として約400年以上続く岸川区の伝統行事です。

以前は、毎年行われていましたが、近年は2年に1度行われており、前日14日の早朝から区民の大人から子どもまで総出で引き合う綱を作る「盆綱練り」を行います。今年は、佐賀大学生2人が綱作りに参加してくれました。



▲白熱した綱引き。今年は上区が勝利しました。

それを3本にまとめ、そこからカズラを絡めながら直径70cm、長さ約30mの1本の「綱」にしています。15日の夕方、岸川区上のバス停留所に集まり盆綱引きがスタート。男性対女性と子どもで対戦。2勝1敗で女性・子どもが勝ちました。上区対下区との対戦では、白熱した攻防が繰り広げられ、見物客の応援が響き渡りました。結果は、2勝1敗で上区が勝利しました。

決戦の間には、岸川区児童8人が「盆綱引き歌」を披露し、参加者も手拍子にあわせ一緒に歌い「盆綱引き」を盛り上げていました。



▲14日の「盆綱練り」の様子。区民総出で練り上げます。

## 市長コラム

## 温故創新

Message for citizen

### 佐賀県市長会長として尽力しました

市長 横尾俊彦

平成15年4月に佐賀県市長会長に就任し、12年4か月務めた会長職を8月に交代しました。多久市のように小自治体から会長就任は稀で、それだけに重責も感じました。「やはり小都市には難しかったなあ」と評されぬようにと肝に銘じ、真摯に職責遂行に努めました。

新時代ニース対応、長期的・本質的・多角的な考察、生活者視点、市民が主役となり幸福実現できる社会、を基本としました。大過なく果たせたのも多くのご支援の賜物であり感謝しています。

任期中には、①県選出国会議員と政策提案意見交換会、②知事要望の予算編成前実施、③後期高齢者医療広域連合の設立運営、④県域国保運営体制まとめ、⑤九州電力と県内17市町の協定締結と連絡会運営、⑥県政の委員として提案、⑦国土交通大臣へ佐賀県内予算確保の要望、⑧市町村振興協会から市町へ財源配分等を実現しました。

内閣府地方分権改革推進委員に選ばれたことも忘れ難い思い出です。全国810人以上の市長から唯一人、総理大臣から任命され100回に及ぶ審議を重ねました。その勧告が今の地方分権改革の基調となっています。全国市長会副会長に就任し、各省幹部と得難い人脈もいただきました。

さらに九州市長会では長崎市長銃殺事件で犠牲となられた故・伊藤会長とともに九州市長会の道州制提案をまとめたことが貴重な思い出です。

全国市長会相談役と九州市長会副会長の役職は継続しつつ、市政発展にさらに尽力します。